ジョエル・タウンズリー・ロジャーズ
Joel Townsley Rogers
(1896-1984)

アメリカの大衆小説家。ミズーリ州に生まれ、87歳で歿。ハーヴァード大学に学んだ秀才として知られる。大学卒業後海軍航空隊に 2 年間入隊し、除隊後各種パルプ雑誌に数多くの作品を発表、晩年まで作家活動を続けた。作品分野はミステリ、サスペンス、ホラー、SF など多岐にわたり、軍でのパイロット経験を活かして航空冒険小説も手掛けた。最も有名な小説は 1945 年の長篇ミステリ『赤い右手』で、英語圏でこんにちまで版を重ねると同時に日本を含む諸外国で翻訳され、1951 年にはフランス推理小説大賞を受賞した。他の長篇に『赤い月の夜に』(23)、『骰を振る女神』(46)、『止まった時計』(58) がある。

翻訳◆夏来健次

英米小説翻訳者。訳書にジョエル・タウンズリー・ロジャーズ『赤い右手』『恐ろしく奇妙な夜――ロジャーズ中短編傑作集』、ジョージ・W・M・レノルズ『人狼ヴァグナー』(以上国書刊行会)、R・L・スティーヴンスン『ジキル博士とハイド氏』、W・コリンズ他『ロンドン幽霊譚傑作集』(以上創元推理文庫)、G・G・バイロン他『吸血鬼ラスヴァン』(東京創元社、共編訳)ほか多数。

〈世紀の傑作〉とも〈掟破りの怪作〉とも評される
『赤い右手』で名高いJ・T・ロジャーズの、
ミステリの枠にとどまらない
3つの長篇ほかを本邦初紹介!
熱に浮かされたような文体、
読む者を捉えて離さない切迫感、
複雑巧緻に絡み合う伏線の妙と、
物語の終盤で訪れる圧倒的カタルシス――
ひとたび手にとるや、巻を措く能わざる
異色のシリーズ、刊行開始!!

四六判変型・上製ジャケット装・各巻平均400頁
平均予価2,400円+税
装幀=大倉真一郎

❖

第1回配本◆『止まった時計』

2024年8月刊　定価:本体2,400円+税
ISBN978-4-336-07671-7
＊以降年1冊ずつ刊行予定

国書刊行会
〒174-0056　東京都板橋区志村1-13-15
TEL.03-5970-7421　FAX.03-5970-7427
https://www.kokusho.co.jp
info@kokusho.co.jp

Joel Townsley Rogers Collections
-all 3 vols.-

ジョエル・タウンズリー・ロジャーズ コレクション
全3巻

夏来健次=訳

国書刊行会

ジョエル・タウンズリー・ロジャーズコレクション

止まった時計
The Stopped Clock, 1958

舞台はワシントンDCの閑静な住宅街。かつて絶世の美人女優として一世を風靡した人妻ニーナ・ワンドレイが自宅で命を狙われ、瀕死の重傷を負った。正体不明の犯人はとどめを刺しに再び侵入してくるのではないか？　ときあたかも、ニーナに再会すべく偶然にも同時期に訪問しようとする複数の元夫たち。物語は彼らとの波乱万丈の結婚生活を往還し、驚愕の真相へと向かう。稀代の異才J・T・ロジャーズによる、過去と現在が入り乱れる眩惑的サスペンス。世紀の怪作『赤い右手』をも凌ぐ、知られざる最高傑作！

【第1回配本】ISBN978-4-336-07671-7

赤い月の夜に
Once in a Red Moon, 1923

映画産業で財を成したニューヨークの老富豪ティモシー・グレイディは美貌の人気女優ローズ・ドーンを見初め、強引に婚約した。愛がないにもかかわらず母のため結婚を承諾したローズ。だが彼女のみにとどまらず、老富豪の身辺では財産狙いや嫉妬や遺恨を孕む者たちが跳梁跋扈し……疑心暗鬼の渦中でついに殺人事件が勃発する！過剰な複雑さと変則性に溢れた挑戦的・実験的な大群像劇ミステリ。鬼才J・T・ロジャーズの真髄を知るために不可欠な、作者20代での初長篇にして最長尺の力作。

【第2回配本】ISBN978-4-336-07672-4

骰（さい）を振る女神
Lady with the Dice, 1946
My Friend Death, 1947
Pink Diamonds, 1941

美男子ルイス・コストヴィアンは生来の極悪人。莫大な遺産を受け継いだ資産家の娘コンスタンスを騙して結婚した上に命を奪い、なおも飽き足らず放蕩・殺人・略奪とあらゆる悪事を重ね、さらに究極の欲望を満たすために突き進む……悪の申し子を待ち受ける運命や如何に？　傑作『赤い右手』の翌年に発表された、まったく趣の異なる純然たるピカレスクにして、先の読めないJ・T・ロジャーズ流異色ノワール。他に傑作短篇「死はわが友」「ピンクのダイヤモンド」の2作を収録する。

【第3回配本】ISBN978-4-336-07673-1

＊タイトル等が変更されることがあります。